

## 平成29年度 成さん亥さん達の田作り

### ～第11期大椎っ子田んぼ、第8期あずみっ子田んぼ 番外編② 大椎小の先生方から～

先月号に引き続き、今月号は大椎小の先生方から子どもたちの成長や活動の意義をご寄稿いただきます。

#### ★「うまか～」

大椎小学校長 加瀬充彦

NHK大河ドラマ「西郷どん」の第3話で、大家族で貧しい西郷家が100両の借金を豪商にし、そのお金で家族が腹いっぱいのお米のおにぎりをほおぼるシーンでの言葉がこの「うまか～」でした。この言葉はまさに大椎っ子田んぼで収穫したお米を塩結びにしたものを、私もおすそ分けでいただいた時の感動と似たものでした。昨今、おにぎりの具は多彩で、パリッとした海苔もついています。大変おいしく、私も利用する機会が少なくありません。しかし、5年生が作った塩結びはおにぎりの原点のおいしさを認識させてくれました。

中学生の息子の歴史の教科書をめくっていると、江戸時代の農業の発展の学習のページに目が釘付けになりました。「老農夜話」という資料に5年生が脱穀の作業をするときに使っ



老農夜話より

ていた器具類が記載されていました。「唐箕」などは江戸時代に既にあったものとは驚きでした。子どもたちは日本の豊かな稲作文化の伝統に触れるまたとない機会に恵まれました。時が経て、この絵を目にしたとき懐かしさに浸ることでしょ。

本校の学校教育目標の「自ら学ぶ 心豊かで たくましく生きる 大椎っ子」の育成にぴったりの体験学習をすることができました。新学習指導要領の目指す「主体的・対話的・深い学び」にも迫る学習です。

最後になりましたが、関係者及びボランティアの皆様には子どもたちのために、このような学習の機会をいただきましたことに心より感謝申し上げます。私はかつて市民農園を6畳ほどの広さですが借りたことがあります。夏場の水やりや雑草とりだけで根を上げ、僅か1年で止めてしまいました。このことを考えると、稲の作付から始まり、田んぼの維持・管理を経て収穫にいたるまでのバックアップは相当なものであったことと推察します。本当にありがとうございました。YPPの皆様の一層のご活躍とご発展を祈念します。



#### ★「自然の恵み」

5年1組 岩野匡伸

大椎小学校に来て2回目の「大椎っ子田んぼ」の活動に参加させていただきました。子ども達にとって貴重な体験をさせていただきました。米作り、田植え、草刈り、稲刈り、脱穀とほとんどの子ども達にとって初めての体験で驚きの連続だったと思います。様々な思いを持ちながら活動し、ようやくたどり着いた感謝の会。力を合わせた仲間達と、自分達で育てたお米でにぎったおにぎりの味と感動は忘れないことでしょう。

田んぼでは自然観察も行いました。子ども達は見たことのない生き物を見つけて大興奮。名前もわからない生き物に思い思いの名前を付けたと私に話をしてくれました。



学校に戻ってきて、「さっきの生き物の名前はなんだろう？」と気になりだし、図書室で図鑑を手に取り探す姿を見て、感心しました。このように、意欲的に学んだり、貴重な体験ができたのはYPPのスタッフの皆様、保護者の皆様のおかげです。ありがとうございました。

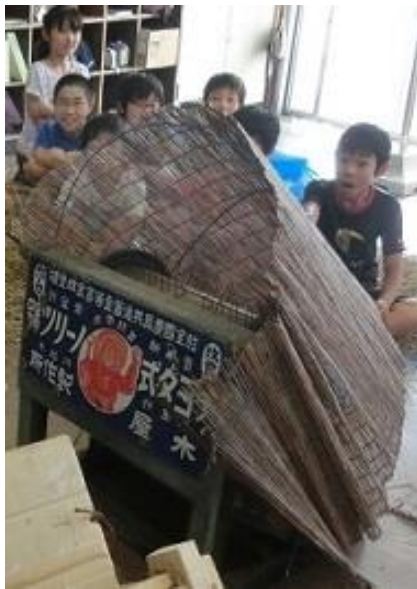
#### ★「お米の大切さ」

5年2組 内山知世

私は今回初めて「大椎っ子田んぼ」に参加させていただきました。子どもたちとともに田んぼ活動に関わることで、多くのことを学ばせていただきました。幼少期、「お米一粒には七人の神様が宿る、だから茶碗に一粒も残さず食べなさい」と教わったことを思い出しました。お米一粒から、力強く稲が育っていく様子を観察したり、暑い中、実際に田んぼに足を入れて作業したりしていくなかでしか感じられない米作りの苦労や思い、感動などを知り、本当の意味での「お米の大切さ」を理解できたように感じます。感謝の会では、脱穀し、精米したお米を、田んぼ活動を振り返りながら子どもたちといただきました。「お米ってこんなに甘いんだね」と嬉しそうにおにぎりをほおぼる様子から、今まで食べていたお米のあじとはまた違い、頑張って作ったお米のおいしさは格別のような感じでした。このような貴重な体験をさせていただけたのは、YPPの方たちの支えと保護者の皆さまの応援があったからだと思います。本当にありがとうございました。

## ●土気小学校 脱穀・もみすり日記

土気小学校でも地元の農家さんのご協力のもと稲作を行なっているそうです。これまでは稲刈りを終えた稲を手作業で脱穀、粃摺りしていたのですが、YPPの活動を知り脱穀機や粃摺り機をお借りしたいと連絡がありました。土気っ子たちの体験記を報告いたします。



★脱穀されたもみがパチパチと飛ぶ音がして楽しかった。大量に脱穀できてスカッとした。(H.A)  
★友達がすごくひっぱられるよと言ったので、怖いと思ったけど、やってみたらとても楽しくてもっとやりたいと思った。(A.K)  
★初めて脱穀機を見て、古そうだったので脱穀できないんじゃないかな

いかなと思ったけど、ちゃんとできた。きちんと押さえないとひっぱられるので、あぶなかった。(Y.K)

★脱穀機にはたくさんのもみをとるための歯がついていてこわいと思った。思った以上に機械にひっぱられて大変だった。(Y.N)

★新しいと思っていたけど、昔の機械だったのでおどろいた。足でふみながら脱穀するのはこわかった。(M.K)

★脱穀機は思った以上にいきおいが強く怖かったが、やっていくうちに慣れてきた。脱穀した後の稲が軽くてびっくりした。(M.S)

★脱穀機は見た目はシンプルなのにもみがすぐにとれてつかいやすかった。機械の中がどうなっているのか気になった。(O.T)

★割りばしで脱穀するより脱穀機を使う方が全然早くてできた。もみすりもボールを使うよりも簡単にできた。あらためてお米づくりは大変だと思った。(R.I)

★家にある米が脱穀という作業をしているなんて知らなかった。脱穀機を使って初めてこんな作業があることを知った。(H.I)

★もみすり機を作った人はすごいなと友達と話した。予想外の力にとってもビックリした。(M.M)

★ボールでもみすりをしたけど、大変なわりに少ししかできていなかった。もみすり機を使い、玄米が出てきたときにはうれしかった。(H.I)

★自分たちはボールを使ってもみすりをしたが、もみすり機を使えばすぐできると知っておどろいた。(Y.G)

★ボールでもみすりをしたが指をすったりして大変だったが、もみすり機はスイッチを入れるだけで玄米が出てきたのでかんたんだった。出てきた玄米がツヤツヤで感動した。(S.M)

★お米が脱穀されるまでが大変だとわかった。その苦労がむだにならないよう1粒も残さぬよう食べたい。(A.I)

★もみすり機の中にもみを入れると、もみながらキレイにとれていて、ボールでとった時とはスピードが全然ちがって、びっくりした。(H.I)

★ボールでこするよりもかんたんだった。もみすり機の仕組みを知りたいと思った。(K.I)

★昔からある機械で、手動で稲束からもみがとれて感動した。足で踏んで速度を調節できておどろいた。(T.N)

★脱穀をわりばしを使って手作業でしてみたら、まわりに飛び散ってとても時間がかかった。もみすりはボールを使ってもみをとったけど、かなりの力が必要だった。脱穀機や粃摺り機があってよかった。貸してくださり、ありがとうございます。(Y.K)

★最初にわりばしを使って脱穀したときは、もみがとれる爽快感があってよかったが、わりばしが折れたりして時間がかかった。なので、簡単に一度で大量にもみがとれる脱穀機は便利だなと思った。(C.S)

★脱穀の後にもみすり機を見て、どんなものか早く試したかった。機械に脱穀したもみを入れたら、きれいな玄米が出てきておどろいた。5秒もしないうちにでてくるので、機械ってすごいと思った。(A.I)

★いっしゅんでもみが玄米に変わったのですごいと思った。玄米を家で食べてとてもおいしかった。(S.T)

★脱穀してみると、最初は難しかったが慣れてくると、スムーズにできた。でも途中で体ごともっていかれそうになり、先生に手伝ってもらったので、できた。脱穀は力がないとできないんだと思った。(G.T)



★脱穀の後にもみすり機を見て、どんなものか早く試したかった。機械に脱穀したもみを入れたら、きれいな玄米が出てきておどろいた。5秒もしないうちにでてくるので、機械ってすごいと思った。(A.I)

★最初に機械にたよらず、まず、自分の力でやってその後と機械でやって2つのよい経験ができた。(M.O)

★足踏み脱穀機は足の力が必要で力がないと脱穀機が回らず大変だった。稲束を手に持ち手と足を使うのがむずかしかった。脱穀し終わるともみがいっぱいできてびっくりしました。(M.U)

★脱穀機は足で踏みながら手元も見てと大変な作業で農家さんの大変さがわかった。(M.N)

★脱穀機を足で踏んだ時、足だけでこんなに早く回るのかとびっくりした。脱穀する前のわらとした後のわらの重さが違うのもびっくりした。(M.K)





# 里山たんけんレポート

## 第 218 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2018年3月4日(日) 晴れ

2月28日までは新たな産卵はなかったのですが3月2日に見回ったときにはたくさん産卵されていましたので卵塊のカウントをメインに行いました。新たにYPP田んぼで228個、マイ田んぼで207個の卵塊を確認しお隣の花澤さんの田んぼもなどを合わせると今季の合計は1,329個となり、過去3月の観察会時の数では最高数となりました。2月に産卵したものは孵化して早いものはオタマジャクシになって泳ぎ出していました。子ども達がヨシ原に掘った池にも7つの産卵がありました。掘った年は0個、去年は1個、今年は7個でこの池はカエルにしっかり認知されたようです。気温も高く田んぼではメダカが泳ぎ、たくさんのオオタニシが目につきました。成虫で越冬した、ルリタテハ、キタテハも飛び出しました。オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウなど早春の花はいっぱい咲いていましたが今冬は寒かったせいかツクシはまだ頭を出していませんでした。すぐ近くからキジ3羽が飛び出し驚かされたり、カシラダカの群れに出会ったりしました。最後に先月拾いきれなかった、谷津をまたぐ道脇のゴミ拾いをしました。(参加 大人11名、幼児2名 報告・写真 網代春男)



## 第 218 回 下大和田 YPP「野草を食べる会」と「生きものいっぱい谷津田の米作りオリエンテーション」

2018年3月17日(土) 晴れ

米作りに初めて参加する方には谷津田がどんな所か田んぼを巡りながら見ていただき、米作りにあたって必要なことをお伝えしました。みなさん米作りに励んでみようという気持ちを持っていただいたようでした。一緒に頑張りましょう。林内ではシイタケを子ども達に採ってもらったりしました。その後、野草を食べる会の方に合流し、セリなどを摘みました。最初から野草摘みに回った組はミツバ、ニワトコ、ノビル、ヨモギ、ツクシなどなどたくさんの野草を摘んでいました。みんなで下ごしらえをして料理にかかりました。子ども達は天ぷらを揚げているところを取り囲み揚がるのを待っていて、揚がるそばからなくなってしまい、揚げもの担当は大忙しでした。味噌汁も残らず完食。大人にはノビルのぬたが大好評でした。総勢64名で賑やかに春の味覚を味わった一日でした。



(参加 大人33名、高校生2名、小学生17名、幼児12名 報告 網代春男 写真 田中正彦)

## 里山くらぶ 森と水辺の手入れ

2018年3月18日(日) 晴れ

お隣の花澤さんの田んぼの畦がイノシシにめちゃくちゃに壊されました。花澤さんが補修にいられていたのので、補修のお手伝いをしました。いつも観察会などで利用させていただいている田んぼでなんとか稲作を続けていただきたいと願っています。これから水路を直したりするそうなので人手がいる際はお手伝いしたいと思います。その水路にアズマヒキガエルがたくさん産卵していました。水が通ると流されるのでYPPの緑米の田に卵を移しました。テーブル材の加工、YPP田の畦の補修、山林内の下刈り等もしました。(参加 大人4名 報告 網代春男)

## 第 153 回 小山町 YPP「あぜの整備」など

2018年3月17日(土) 晴れ

生き物たちの活動はいよいよ旺盛になって、水路と畦の整備は、モグラたちとの根競べです。特に、アザミ谷の田んぼ5段のみごとな棚田ですが、順番にうまく水を回すには、それぞれに水が満たせなくてはなりません。各田の間の畦の穴ふさぎも入念に、その上、田の山際の水路からの取り込みも調整し、きれいに水が渡りました。(参加 大人5名、報告・写真 稲富理枝)



## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 3月 3日 アカガエルの卵塊、孵化確認。産卵継続。ウグイス、地鳴～囀り行ったり来たり。(赤シャツおやじ)
- 3月 17日 シュレーゲルアオガエル鳴き声確認。アズマヒキガエル大量産卵。(赤シャツおやじ)
- 3月 25日 タチツボスミレ、タンポポあちらこちらに咲く。(たんぼぼ)
- 3月 31日 シュレーゲル大合唱、ハクセキレイ、アオサギ舞う。コオイムシもあちこちで活動(たんぼぼ)

### 下大和田

- 3月 2日 ウグイス囀るがまともに歌えていない。(網代)
- 3月 6日 シュレーゲルアオガエル鳴く。(網代)
- 3月 14日 アズマヒキガエル産卵
- 3月 27日 ヤマザクラ、オオシマザクラ咲く。(網代)
- 3月 28日 フデリンドウ咲く。(網代)

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

- ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。  
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。  
・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。  
・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

### ▼第220回下大和田 YPP「田起こし」・第221回「田植え」

田植えの前の準備で田んぼの土を返し、平らになります。 翌週、4月に種を播いて育てた苗を植えます。トンボやメダカ、カエルなど生きものとたくさん出会える楽しい作業です。

- 日時: 田起こし 2018年5月5日(土) 9時45分~14時 ☆小雨決行  
田植え 2018年5月12日(土) 9時45分~15時 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。)

集合: 現地。初めて参加する方は駐車場や会場をご案内しますので事前に網代(あじろ)090-2301-0413までご連絡ください。

交通: JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きちばフラワーバスで中野操車場バス停下車、徒歩5分で現地。<千葉駅発8:25、8:40など、所要時間45分>料金は540円。

持ち物: 弁当、飲み物、帽子、軍手、長靴、敷物など。

参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

### ▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

日時: 2018年4月15日(日) 9時45分~14時 ☆小雨決行

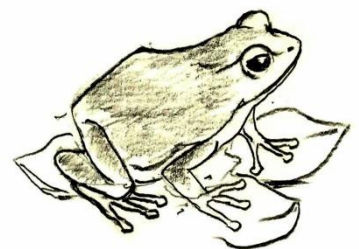
場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 現地9時45分 初めて参加の方はご連絡ください。(同上)

持ち物: 弁当、飲み物、帽子、軍手、長靴、長袖長ズボンの服装、敷物など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター



画 赤シャツおやじ

### ▼第220回下大和田谷津田観察観察会とゴミ拾い

二ホンカワトンボやヤマサナエが発生しています。たくさんの昆虫や花に出会える季節です。

日時: 2018年5月6日(日) 9時45分~12時 ☆雨天決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 現地9時45分 初めて参加の方はご連絡ください。(同上)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム、ちば環境情報センター

### ▼第154回 小山町 YPP「あぜの整備」など

米づくりに備えての準備をします。

日時: 2018年4月14日(土) 10時~12時30分 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴(長めのもの)、帽子、軍手、敷物。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

■編集後記 3月、穏やかな日和続き、アカガエルのオタマたちは一斉に孵化、やや遅れて、ヒキガエルのオタマたちもそれに続く。彼らはしばらくは泳げずまとまっているので、卵塊のあった場所は、そこかしこ、黒々とした穴の様です。一方、もぐらたちの活動も旺盛になり、水を抜かれてしまう。オタマが干上がらないか?心配しつつ、もぐらとの穴ふさぎ競争は続きます。(赤シャツおやじ)